

4 おうちで過ごすための福祉用具について

有限会社ホロス 取締役社長 三浦慶一氏

おうちで過ごすための福祉用具や活用するメリット、理解しておきたいことをご紹介しました。

活用するメリット・理解しておきたいこと!!

1. メリット
 - ・利用者様の自立の可能性を高める
 - ・介助者の負担を軽減する
 - ・安全な環境づくり
2. 理解しておきたいこと
 - ・多くの種類がある
 - ・出来る事は限定される
 - ・知識、技術が必要なものもある
 - ・時間をかけてなじむもの



5 おうちで訪問看護師が出来ること

南三陸訪問看護ステーション 千葉美由紀氏

2つの事例を紹介しました。

①6歳男児ミトコンドリア リー脳症。3歳で人工呼吸器装着。ご家族様が全ての医療的ケアを習得し退院。在宅生活を送っています。

②73歳男性食道癌術後、腸閉塞を繰り返し在宅中心静脈栄養法が必要となり、奥様が輸液ポンプの使い方・点滴の手技の指導を受け退院。9か月の在宅生活を送り永眠しています。退院に向けた病院で指導は受けてはきましたが、大きな不安がありました。それ以上に「一緒に家で暮らしたい」「何でもしてあげたい」「自分を頼ってほしい」という強い思いから在宅を選択しました。

「家」はその人が生きてきた生活の場です。かけがえのない時間を、ご家族や親しい人に囲まれ過ごせる、その人自身が楽しく、その人でいられるところが「家」であると思います。

「いのちを救う」のが医療であるなら、「いのちを支える」「いのちに寄り添う」のが在宅での訪問看護師の役割だと思います。介護は在宅の方が大変かもしれませんが「家に居たい」「家に帰りたい」というご本人の気持ちと、頑張れるというご家族の気持ちがあれば、地域のスペシャリストが連携し支援していきます。どうぞ、在宅での看取りを選択肢の一つに考えてみてはいかがでしょうか？

6 おうちで歯科医師ができること

気仙沼歯科医師会在宅歯科医療連携室（金沢歯科医院）金澤洋氏

おうちで行われる歯科治療は訪問歯科診療と呼ばれます。それは一般的な歯科診療、例えば・虫歯の治療・歯槽膿漏の治療・入れ歯の修理、入れ歯の新製・その他（顎が外れた）です。もう一つは口腔ケア・摂食嚥下リハビリテーションです。その目指す処は・きれいなお口・動くお口・食べるお口です。きれいなお口をつくるために専門的な口腔清掃（お口のお掃除）を行います。歯だけではなく歯肉、口腔粘膜の清掃とマッサージをしそれを普段にできるように家族、介助者に指導します。次に動くお口を作るために摂食嚥下機能改善のためのリハビリテーションを行います。具体的には・含嗽（うがい）の練習・舌の運動・口の開閉運動、口を膨らます運動・頸部の運動、後頸部筋群への刺激・口腔周囲筋、頬筋のマッサージ・唾液腺の刺激・口腔内のマッサージ・発語を促すアプローチ・上肢および下肢の体操をすとともに家族、介助者に指導します。こうしたことを通じて食べるお口を作りそれが誤嚥性肺炎の予防に繋がっていきます。誤嚥とは唾液や食物、胃液などが気管に入ってしまうことで誤嚥した食物や唾液に含まれた細菌が気管から肺に入り込むことで起きるのが誤嚥性肺炎です。その予防には口腔内を清潔に保つことが最重要となります。



7 おうちで薬剤師ができること

気仙沼薬剤師会（南郷調剤薬局・薬剤師）武田雄高氏

市民の方々には「病院から追い出される」という誤解から在宅医療が敬遠されていたように思う。治療と医療は別だと私は認識している。前者は医師主導により疾患の軽減や完治を目的に行われるもので対象は患者である。これに対し後者の対象は利用者を含む「家族」である。目的は利用者家族の生活を視ることでありケアマネジャーを中心とする医療従事者チームによる。故に「在宅治療」ではなく「在宅医療」と呼ばれているのだ。職種間の情報共有により、市民フォーラムがスタートした当時とは斬新だった残薬調整や、介助する家族の生活習慣を鑑みた処方内容の検討などが現在では当然に行われる様になったのは喜ばしい。

徐々に広がる地域包括ケアの現場で、薬剤師は利用者家族や関連職の方々から多くを学ばせて頂いていることに心から感謝している。私たち薬剤師は今後も「服薬がある生活を見守る」ことで高齢化する地域医療に貢献する。